

## 施策マネジメントシート

基本施策名	10 高齢者福祉の充実	施策統括課	高齢者支援課	氏名	馬場一嘉
政策名	4 保健・福祉	主な関係課	福祉総務課、地位包括ケア推進担当、予防健康担当		

### 1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等

65才以上の市民(高齢者)

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称		単位
ア	65才以上人口	人
イ		
ウ		
エ		

施策の目的

高齢者が生きがいを持ち、地域社会を支える一員としていきいきと活躍できるように環境を整えるとともに、病気や認知症になっても住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるまちを目指す。

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)		単位
1	ア 75歳以上の要介護認定率	%
	イ 自主活動グループ数(活動場所)	箇所
2	ア 高齢者の就労率	%
	イ 高齢者の社会参加率	%
	ウ 孤立化のリスクが高い高齢者の割合	%
3	ア 高齢者からの新規相談件数	件
	イ 市が高齢者の相談や支援を充分に行っていると思う市民の割合	%
4	ア 要介護認定者のうち在宅で過ごす人の割合	%
	イ	

### 2 第1次基本計画期間(平成28~35年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 介護予防と生きがい活動の推進	高齢者が自らの健康管理に努め、予防的な観点を生活に取り入れながら、いきいきと暮らせるように支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者も対象とした生きがい活動ともなる事業を中心に、介護予防事業を推進します。</li> <li>・高齢者の生活や健康の保持について学びあうことができる環境を整えます。</li> <li>・高齢者のサロン活動や生きがい就労を支援します。</li> </ul>
2 高齢者の支え合い体制の構築	高齢者の孤立を防止し、社会参加を通じて、つながりのある支え合い体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守り活動等により、元気な高齢者が、周り的高齢者を支える仕組みづくりを推進します。</li> <li>・生活支援の基盤としてのシルバー人材センターとの連携を強化します。</li> </ul>
3 きめ細やかな生活支援	高齢者やその家族が安心して生活できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活、介護、医療等の相談を総合的に受け、きちんと支援につながるようきめ細やかに対応します。</li> </ul>
4 高齢者の在宅療養生活の充実	加齢に伴い、病気や認知症になっても、安心して地域で暮らせるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護、保健が連携した在宅療養の支援体制を整備します。</li> <li>・認知症の専門対応と市民啓発を行います。</li> </ul>

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標達成度				
対象指標	ア	人	見込み値			16,832	16,955	17,098	17,187	17,266	17,297	17,454	達成・未達成	前年度比較		
		実績値	16,523	16,887												
	イ	見込み値														
		実績値														
ウ	見込み値															
	実績値															
エ	見込み値															
	実績値															
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値			33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	未達成	向上	
			目標値	32.9	32.5	32.1	31.7	31.3	30.9	30.5	30.1	29.7				
			実績値	33.4	33.2											
		基本計画における指標の説明又は出典元		75歳以上の要支援・要介護認定者数 / 75歳以上高齢者数												
		イ	箇所	成り行き値			75	76	77	78	79	80	81		達成	向上
			目標値	50	55	77	80	83	86	89	92	95				
	実績値		53	74												
	基本計画における指標の説明又は出典元		市が把握する高齢者の自主活動グループ数													
	展開方向2	ア	%	成り行き値										未達成	低下	
			目標値	26.0	26.0	-	-	26.0	-	-	26.0	26.0				
			実績値	25.8(H26)	21.3	-	-	-	-	-	-	-				
		基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(収入のある就労者 / 調査回答者数) 3年に1度												
イ		%	成り行き値											未達成	低下	
		目標値	-	-	-	-	12.6	-	-	17.6	17.6					
	実績値	7.6(H26)	-	-	-	-	-	-	-	-						
基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(見守り支援活動参加者数 / 調査回答者数) 3年に1度、平成28年度本項目未実施														
展開方向3	ウ	%	成り行き値										未達成	低下		
		目標値	6.3	6.3	-	-	6.0	-	-	5.5	5.5					
		実績値	6.5(H26)	15.9	-	-	-	-	-	-	-					
	基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(閉じこもりリスクのある高齢者数 / 調査回答者数) 3年に1度													
	ア	件	成り行き値			3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	達成	向上	
		目標値	3,445	3,445	3,455	3,465	3,475	3,485	3,490	3,495	3,500					
実績値		3,435	3,699													
基本計画における指標の説明又は出典元		高齢者からの新規相談対応件数														
イ	%	成り行き値			25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	未達成	低下		
	目標値	-	-	30.8	36.4	42.0	47.5	53.1	58.7	64.3						
	実績値	25.3	25.3													
基本計画における指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査														
展開方向4	ア	%	成り行き値			80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	未達成	低下		
		目標値	80.9	80.9	81.3	81.7	82.0	82.2	82.4	82.6	82.7					
		実績値	80.5	79.5												
	基本計画における指標の説明又は出典元		施設未利用の要介護認定被保険者数 / 要介護認定被保険者数													
	イ	箇所	成り行き値													
		目標値														
実績値																
基本計画における指標の説明又は出典元																
施策コスト	事業費	事務事業数	本数	44												
		財源内訳	国庫支出金	千円	1,059,087											
			都道府県支出金	千円	759,202											
			地方債	千円												
			その他	千円	2,447,616											
		人件費	一般財源	千円	777,489											
			事業費計(A)	千円	5,043,393	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			延べ業務時間	時間	72,621											
人件費計(B)	千円		259,102													
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,302,495	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である

背景として考えられること

・他市に先駆けて、新総合事業、認知症ケア、在宅療養体制整備に取り組んだ。  
 地域づくりに関しての市民の意欲の高まりが見られた。

**5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・2025年には団塊の世代が75才以上となり、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となる(国)。今後、高齢化が進むと医療と介護を必要とする方がますます増加していくが、現在の医療・介護サービスの提供体制のままでは十分対応できないと見込まれている。高齢者の生活支援の担い手の不足が懸念される。  
 ・2025年を目途に、病気になっても要介護状態になっても住み慣れた地域で生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していく必要がある。  
 ・地域包括ケアシステムを具体化していくための3年に一度の介護保険法改正が平成30年度に予定されている。  
 ・3年一度の介護保険法改正に関連し、第7期介護保険事業計画を平成30年度からの3カ年計画として策定する。  
 ・「認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会」の実現を目指していく。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民からは「今後自分たちに介護が必要となってきたときに、安心して生活できるのか」「認知症になったらどうすればいいのか」という不安の声が寄せられている。  
 ・介護保険事業所等の場を活用した地域住民の活動拠点づくりを支援して欲しいとの意見がある。

**6 28年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 施策の取組状況

28年度の取組状況	29年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援の担い手養成としてシニアカレッジを開講。</li> <li>既存の介護予防事業(ご近所さんでレッツゴー)の増設、新たな介護予防事業(通って集ってレッツゴー)の開始など事業の充実を図った。</li> <li>生活支援コーディネーターを地域包括支援センターへ配置した。</li> <li>引き続き認知症の日のイベントを開催するとともに認知症高齢者一人歩き探索模擬訓練「いいあるきネットinくにたち」を実施。</li> <li>認知症の早期発見早期支援に結び付けるため、市内医療機関や認知症疾患医療センターと連携し個別対応を行った。</li> <li>認知症の方の成年後見制度利用について、国立市社会福祉協議会とともに取り組んだ。</li> <li>地域見守りネットワークの構築に取り組んでいる。</li> <li>富士見台2丁目遺贈土地建物の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7期介護保険事業計画を策定する。(第5次高齢者保健福祉計画と一体の計画として策定する)</li> <li>これに伴い介護保険料を改定する。</li> <li>現在の情勢に対応した高齢者支援施策の模索</li> <li>地域医療計画の策定に取り組む。</li> <li>富士見台2丁目の遺贈土地建物における「居場所づくり」事業を実施する。</li> <li>東2丁目の寄贈地に小規模多機能型居宅介護事業所を公募する。</li> <li>認知症コーディネーター(都)を配置する。</li> </ul>

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び28年度行政経営方針に照らして評価する

・市が把握する高齢者の自主活動グループ数が大きく伸びている。  
 ・新総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の更なる展開に資する取り組みを実施できた。(シニアカレッジ、介護予防事業など)  
 ・認知症施策についても「いいあるきネットinくにたち」など市民参加型の事業を新たに実施できた。  
 ・地域包括ケアシステム概念や生活支援体制整備をテーマに、市民ワークショップ等を行い、市民の啓発に努めた。

**7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 30年度の取組方針

第7期介護保険事業計画、第5次高齢者保健福祉計画に沿って各事業に取り組む。  
 平成29年度に引き続き、地域医療計画の策定に取り組む。

(2) 中期的な取組方針

高齢者の安心安全を24時間365日で実現するために各施策に取り組む。  
 地域包括ケアシステムの推進に向け、社会情勢の変化に対応した高齢者支援施策を再編する。